

入学時期:	4月生	学科:	教養重点科	コース:	16ヶ月	クラス	A
科目名:	判断推理					年次:	1年次
担当者:	山口 祥平 (実務経験あり)	単位:	7単位	授業時間:	105時間		

■授業概要・方法等

判断推理は教養試験(基礎能力試験)で出題される科目で、論理的思考力、推理力、判断力など一般知能を試す科目である。公務員の業務においても様々な情報を整理し、先のことを予測・判断する力が必要となる。本科目では、「文章問題」、「空間把握」と大きく2つに分け、文章中の条件や、イメージするしかない図形の情報を中心に整理するのか、その考え方の基礎から勉強する。また、大学職員だった科目担当者が当時関わった事案を元に、実際に働く現場で、どのような情報を整理するのもも考えたい。

■学習・教育目標及び到達目標

条件を分析し、どのようにすれば正確に情報を整理できるのか、基礎的な知識を利用して考えられるようになる。

■成績評価方法および基準

- ・ 出席状況・・・ 60% ※出席状況は不定期で行うレポートの提出により評価する。
- ・ 確認テスト・・・ 40% ※確認テストの合計点を40点満点に換算する。

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

■教科書

『基礎総演習【文章問題】』、『基礎総演習【空間把握】』(本校独自)
『初級分野別過去問 No.1 文章問題』、『初級分野別過去問 No.2 空間把握』(本校独自)
『初級 文章問題(復習)』、『初級 空間把握(復習)』(本校独自)
他、試験種別過去問

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【判断】

(1～59時間) 時期:4月～8月後半

『基礎総演習』、『初級分野別過去問』を用いて、考え方の基礎を理解する。

(60～83時間) 時期:8月後半～10月

各試験日程に合わせ、『試験種別過去問』を用いて、様々な問題の解き方を学ぶ。

(84時間～) 時期:11月～3月

『初級 文章問題(復習)』、『初級 空間把握(復習)』を用いて、基礎的な考え方を確認する。

※ 内容について【文】は文章問題、【空】は空間把握のテキストを用いる。

時 数		内 容
1	～ 4	【文】命題／対応関係
5	～ 7	【文】対応関係 ／【空】軌跡
8	～ 11	【空】軌跡／展開図
12	～ 13	【空】展開図
14	～ 17	【空】サイコロ／【文】比較・順序
16	～ 21	【文】比較・順序／位置
20	～ 24	【空】立体図形の分割・構成／平面図形の分割・構成
25	～ 28	【空】平面図形の分割・構成／【文】嘘つき
29	～ 30	【文】嘘つき／試合と勝敗
31	～ 33	【文】試合と勝敗／方位
34	～ 36	【空】立体の切断
37	～ 40	【空】串刺し／投影図
41	～ 43	【空】投影図／着色問題
44	～ 46	【空】陰影／【文】暗号
47	～ 49	【文】暗号／手順とゲーム
50	～ 52	【文】その他の問題／【空】位相
53	～ 55	【空】位相／折り紙
56	～ 58	【空】回転体／その他の問題
59	～ 59	【空】その他の問題
60	～ 67	《過去問》国家一般
68	～ 70	《過去問》刑務官
71	～ 74	《過去問》入国海保
75	～ 83	《過去問》警察官
84	～ 98	(復習)文章問題
98	～	(復習)空間把握

■履修にあたっての注意事項

- ・ レポート、確認テストの欠席について
 - …レポート配付時、または確認テスト実施時に欠席していた場合、以下の条件を満たしている場合には、レポートの再配付および確認テストの追受験を認める。
 - ① 事前に学校に連絡があること。
 - ② 欠席の理由が正当な理由として認められること。
 正当な理由：病気(ただし、病院に行ったことを証明できる場合)、忌引き、受験

■その他